

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | こころとからだのしくみⅢ Physical and Emotional Mechanisms III | | | ナンバリング No. | J1-014 | | |
| 年次 | 1年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 小竹仁美 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-ラーニングで対応。本館2階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは担当教員から説明する。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士国家試験受験資格科目) | | | | | | |
| 関連 DP | DP1 DP2 DP3 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>この科目は「こころとからだのしくみ」のうち、主に心理的側面を扱う。心理学の基礎的理論や心理学の諸領域、コミュニケーション、集団行動、ストレス等について、人の心の理解と人にかかわるための基礎理論の習得を図る。</p> <p>① 自己理解と他者理解のための心理学基礎理論を学び、自己や他者を理解する方法を身につけることができるようにする。</p> <p>② グループ活動体験を通してコミュニケーションの取り方を学び、援助職として必要な態度をとることができるようにする。</p> <p>③ ストレスマネジメントの方法を身につけることができるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 講義形式とグループワークなどの参加型形式 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | 人間理解のための基礎的知識と理論を実践的に使うことができる。 | | | | | |
| | L02 | 将来の介護職として他者とのかかわりの中で他者の心情に配慮した対応をすることができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 授業参加態度とレポートは、実施後に各自にフィードバックする。試験は実施後に模範解答を示す。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 必要に応じて資料を配布する。参考図書:こころとからだのしくみ(介護福祉士養成講座テキスト) | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | ●心理検査用紙費用は自己負担である(1,000円程度)。●グループワークに積極的に取り組むこと。●課題を期日までに提出すること。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | ●実務経験(職種:臨床心理士 職歴28年、公認心理士 職歴4年) 心理師としての多様な経験を、心理学の基礎理論の説明、グループワーク等の時に活かす。 | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | S評価は、グループワークに積極的に参加し、意見を述べる、他の参加者の意見を引き出す働きかけをするなどが十分に行われていること。20%の配点である。 | 10 | 10 | | |
| レポート/作品 | 授業後の振り返りのため実施する。S評価は、授業の目的と把握し、授業内容に沿った内容構成であり、学びを論理的に記述していること。50%の配点である。 | 25 | 25 | | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 正誤問題及び説明問題を実施する。S評価は得点率9割以上。30%の配点である。 | 15 | 15 | | |
| その他 | | | | | |
| 合計 | | 50 | 50 | | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス、自己紹介文作成と発表、こころのしくみの理解について |
| | 事前・事後学習 | 自分の対人認知の傾向を考える。 |
| 2 | 授業内容 | グループ活動①(自己理解・他者理解)自分の思考や対人認知の傾向を知る |
| | 事前・事後学習 | グループ活動実施後の課題レポートを作成する |
| 3 | 授業内容 | グループ活動②(集団における個人の行動)グループでの話し合い |
| | 事前・事後学習 | グループ活動実施後の課題レポートを作成する |
| 4 | 授業内容 | グループ活動③(自己主張と協調行動)グループ内の意見をまとめて発表する |
| | 事前・事後学習 | グループ活動実施後の課題レポートを作成する |
| 5 | 授業内容 | 表情とことばのエクササイズ |
| | 事前・事後学習 | 鏡を見て自分の表情を観察し、良い印象を持ってもらえる表情のつくり方を研究する |
| 6 | 授業内容 | 人の感覚のズレや個人差を知る(実験) |
| | 事前・事後学習 | グループ活動実施後の課題レポートを作成する |
| 7 | 授業内容 | 新規場面での行動と慣れ(実験) |
| | 事前・事後学習 | グループ活動実施後の課題レポートを作成する |
| 8 | 授業内容 | 記憶や忘却のしくみ |
| | 事前・事後学習 | 記憶と感情のつながりについて調べる |
| 9 | 授業内容 | さまざまな自己表現(アートセラピー) |
| | 事前・事後学習 | 表現する体験をレポートにまとめる |
| 10 | 授業内容 | 性格とアセスメント、心理検査体験、心理検査のメリットとデメリット |
| | 事前・事後学習 | 実際の自分に行動や考え方と心理検査の結果を比較して考察する |
| 11 | 授業内容 | グループ活動④(集団における問題解決)協力して問題を解決する |
| | 事前・事後学習 | グループ活動実施後の課題レポートを作成する |
| 12 | 授業内容 | ストレスのしくみ、ストレスマネジメント |
| | 事前・事後学習 | ストレスマネジメントを実施してレポートを作成する |
| 13 | 授業内容 | コラージュ療法体験(アートセラピーを通したこころの理解) |
| | 事前・事後学習 | コラージュ作成過程における心理的变化の体験をレポートにまとめる |
| 14 | 授業内容 | グループ活動⑤高齢者とその家族についての事例問題から解決策を考える |
| | 事前・事後学習 | グループ活動実施後の課題レポートを作成する |
| 15 | 授業内容 | 高齢期の心理 |
| | 事前・事後学習 | 高齢者を理解し支援する方法をまとめる |